

## 「"雨男"・"雨女"救済策！ 地域別晴れの出現率」

気象予報士  
多胡安那  
(地域の魅力研究所サポーター)

なぜだか雨雲に縁がある人がいる。

いわゆる「雨男」・「雨女」といわれる人たちだ。

運動会や修学旅行、入社式など、肝心な時はいつも雨。思い出写真には、笑顔とともに傘が写っているような人も多いかもかもしれない。

ある調査によると、日本人の3人に1人は自分が雨男・雨女だと認識しており、周りから雨男・雨女だと言われた経験がある人の割合は、およそ4割に昇るそうだ。

その中でも、雨率が高い"ハード雨男・雨女"の存在も少なくないという。

もちろん、雨男や雨女に科学的な根拠があるわけではないが、季節を問わず雨雲を呼んでしまう引きの強さは、偶然とは思えないレベル。

雨男・雨女が参加するイベントでは、晴れ予報でも雨対策をする主催者がいると聞いたことがある。

そんな悲しい運命を生き抜いている方々に、私は天気出現率の利用をオススメしたい。

天気出現率とは、ある地点の365日それぞれの日に起きやすい天気現象を割合で出したもの。つまり、一年の中で晴れやすい日や雨が降りやすい日が確率で表されているのだ。

主要都市を例にとってみると、1年でもっとも晴れの出現率が高い日と確率は以下の通り。

札幌	9/29	73.3%
仙台	8/5	83%
新潟	8/13	73.3%
金沢	8/3	80.0%
東京	12/24 と 12/29	93.3%

名古屋 11/21 と 12/22 86.7%  
大阪 12/30 83.3%  
福岡 10/27 86.7%  
那覇 10/13 83.3%

これによると、東京や名古屋、大阪などの太平洋側の地域は冬に晴れやすいのが分かる。冬によくある西高東低の気圧配置は日本海側で雪を降らし、太平洋側では晴れをもたらすためだ。

一方、冬に雪が多い札幌は9月下旬が最も晴れやすいなど、地点によってさまざま。

晴れやすい日にも地域性がある。

出かける場所に合わせて晴れる確率が高い日を選べば、雨男・雨女の汚名を払拭できるかもしれない。

了

(2016/4/28)